エコアクション 21
環境活動レポート

2023 年度(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

レポート作成日：2024 年 4 月 15 日

宮松城南株式会社

目次

【1】 環境経営方針 p. 3

【2】 会社概要 p. 4

【3】 許可の内容

1 産廃に関する許可の内容 p. 6

2 処理施設の内容 p. 7

3 コンクリート再生工程 p. 8

【4】 実施体制 p. 9

【5】 環境経営目標 p. 11

【6】 環境経営計画の内容及び次年度の取組内容 p. 16

【7】 次年度の取組内容及び評価結果 p. 15

【8】 環境関連法規等の遵守状況 p. 17

並びに違反、提訴等の有無

【9】 代表者による全体評価と見直し結果 p. 18

【1】環境経営方針

［企業理念］

宮松城南株式会社は、社会と環境の課題解決を目指し事業の改革に挑戦すると共に自らの企業価値向上と従業員の健康、幸福を追求することを企業理念とする。

［環境経営の指針］

当社は経営理念を踏まえ、経営と環境が融合した環境経営システムを基盤とすることにより製造業として環境負荷の少ない事業活動並びに環境に配慮した製品・サービスの提供に積極的に取組みます。

環境経営への取組みに当たっては、環境関連法規等を遵守し、以下の基本的方向に基づき全従業員参画により環境活動を実践すると共に環境経営の継続的改善を図ることを誓約します。

［環境経営への取組の基本的方向］

1. 二酸化炭素排出量の削減

① エコドライブ教育の徹底により車両、並びに重機等の燃料使用量削減に努める。
② 高炉セメント使用頻度向上により CO2 の削減に努める。
③ 生産設備及び照明設備の省エネ化により電気使用量削減に努める。

2. 廃棄物排出量の削減

① 事業者から発生する一般廃棄物削減に努める。
② 生コンクリート販売に係る産業廃棄物の発生を抑制すると共に 3R 活動にも努める。
③ 資源の有効利用とリサイクルによる再利用を推進する。

3. 水使用量の削減

① 事業内の水使用量の削減に努める。
② 生コンクリート製造設備（構内散水等）における再生水（上澄水）の使用を推進する。

4. 化学物質使用量の削減（管理）

① 化学物質を使用する場合は適切に使用量管理を行います。

5. ゼロ・エミッション達成への目標

① 生コンクリート製造、販売における産業廃棄物の完全再資源化を目標とする。
② 再生材のＰＲ活動を積極的に行い、需要バランスを保つことに努める。
③ 生コンクリート製造、販売における産業廃棄物を用いて新たな商品開発に努める。

この環境方針は、全従業員に周知すると共に、一般にも公開します。

制定：2018 年 7 月 14 日

宮松城南株式会社
代表取締役　村松直人

【2】会社概要

1) 名称及び代表者名

宮松城南株式会社

代表取締役社長　村松　直人

2) 法人設立年月及び資本金

設立年月　平成 13 年 12 月

資本金　　9,900 万円

3) 所在地

本社工場　東京都大田区城南島 1 丁目 1 番 3 号

千葉工場　千葉県袖ケ浦市南袖 31

本社　　東京都大田区東海 3 丁目 9 番 2 号

4) 環境管理の責任者及び担当者連絡先

責任者　生産部　課長　小林　英吾　TEL:03-3790-2016

MAIL: eigo@miyamatsu-j.jp

担当者　技術部　係長　香取　知明　TEL:03-3790-2016

MAIL:h_t_katori@miyamatsu-j.jp

5) 事業活動内容

本社工場　■生コンクリート製造販売

・普通コンクリート　　・再生骨材コンクリート

・舗装コンクリート　　・高強度コンクリート

・特殊コンクリート

・再生骨材コンクリート

・高強度コンクリート

千葉工場　■中間処理業及び収集運搬業

■再生砕石、細骨材製造販売

・RC40-0　　・R 砂(10-0)

・RM40-0　　・RC40-20

・RC2005　　・RC20-0

6) 事業の規模

■本社・本社工場　　事業年度　4月～3月

	単位	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	億円	25	26	34
主要製品生産量	㎥	142,000	141,000	140,000
従業員	人	19	19	30
延べ床面積 (事務所含む)	㎡	341.72	341.72	410.72

■千葉工場　　事業年度　4月～3月

	単位	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	億円	3	4	4.5
主要製品生産量	㎥	55,320	42,974	25,363
従業員数	人	13	13	16
延べ床面積 (事務所含む)	㎡	6602.25	6602.25	6602.25

7) 処理実績

運搬量　31,888 ㎥(コンクリートくず)

処分量　25,363 ㎥(コンクリートくず及び生コンクリート)

自社使用量・在庫量　6,525 ㎥（路盤材・再生骨材）

8) 収集運搬許可車両台数

10t(ダンプ)　19台

20t(トレーラーダンプ)　2台

25t（トレーラーダンプ)　3台

26t（トレーラーダンプ)　1台

9) 対象範囲(認証・登録範囲)

① 対象組織　「所在地」欄に記載

② 活動　「事業活動内容」欄に記載

【3】許可の内容

1 産廃に関する許可の内容

産業廃棄
物処分業

自治体名	許可番号	許可年月日	有効期限	許可条件	事業の範囲
千葉県	第1220119483号	R3 5/19	R8 3/24	無	1.破砕及び固化による中間処理 2.固化による中間処理に係るもの (汚泥:生コンクリートに限る)

収集運搬許可

自治体名	許可番号	許可年月日	有効期限	積替保管	取り扱える産業廃棄物の種類
東京都	第1300119483号	R2 7/4	R7 7/3	無	汚泥(建設汚泥)、廃プラ、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリートくず、がれきくず類
千葉県	第1200119483号	R2 10/5	R7 8/16	無	
神奈川県	第1400119483号	R2 9/9	R7 7/22	無	
埼玉県	第1101119483号	R2 8/24	R7 8/14	無	

2 処理施設の内容

産業廃棄物中間処理施設許可

産業廃棄物処理施設の種類
産業廃棄物中間処理施設 (コンクリートくずの破砕機)

処理施設の種類・能力

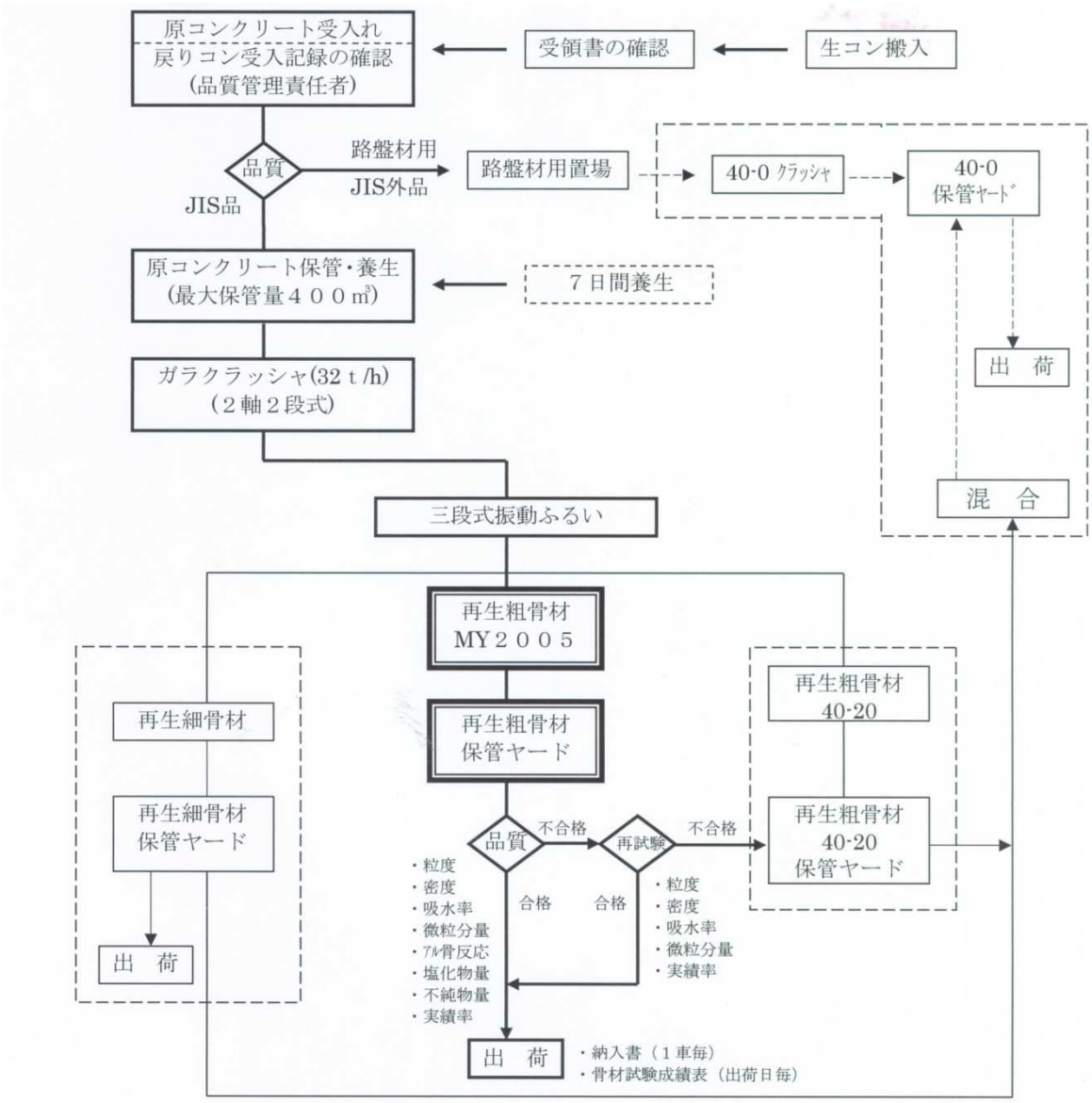
名称	処理能力	処理方法	台数
リバイブマン	256t/日(32.03t/h×8 時間)	破砕	1 基
割太郎	160t/日(20.0t/h×8 時間)	破砕	1 基

汚泥固化

75 ㎥/日

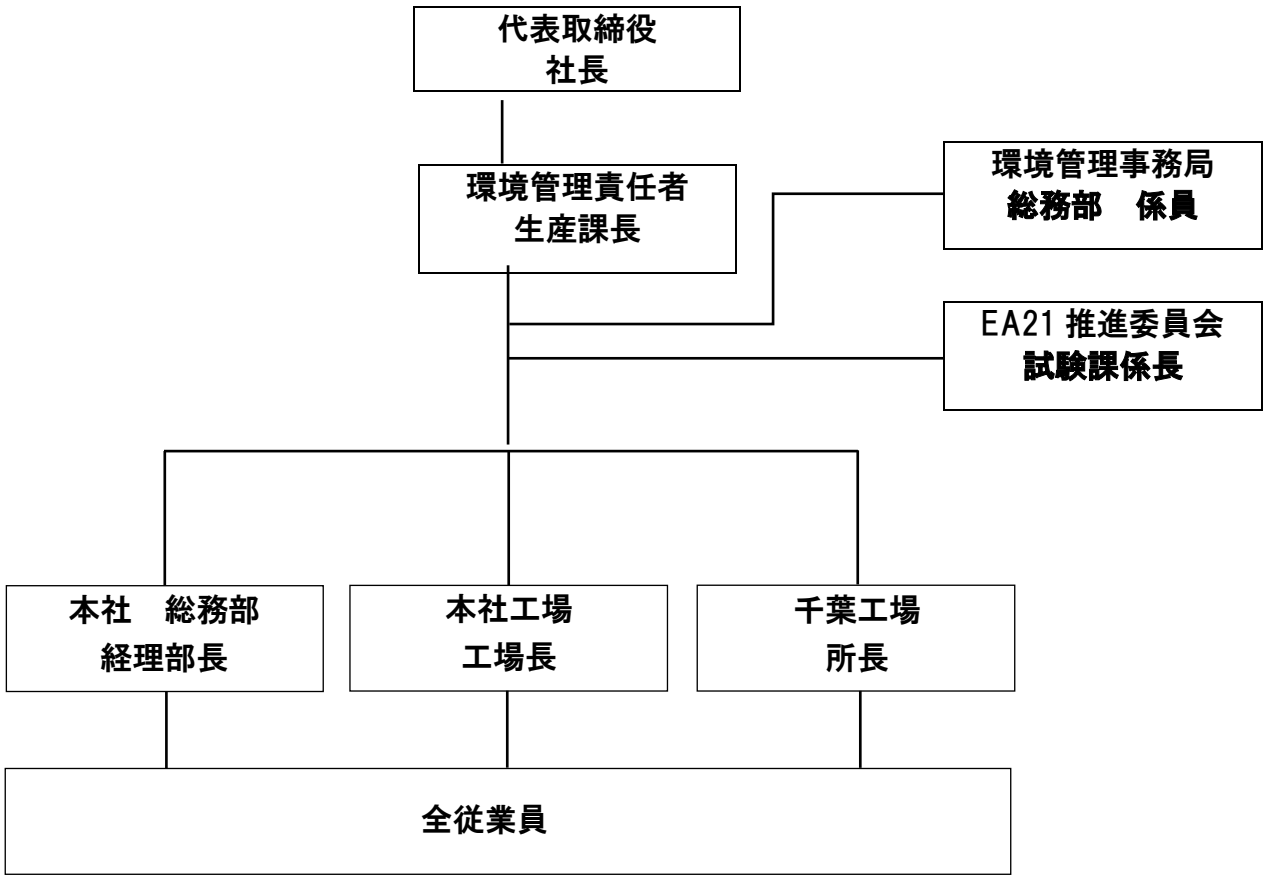
ロール式クラッシャー破砕機　リバイブマン

3 コンクリート再生工程



【4】 実施体制

2023 年 9 月 1 日



名称	役割・責任・権限
社長	1 環境経営に関する統括責任 2 環境管理責任者を任命 3 経営における課題とチャンスを明確にする 4 環境方針を定め、誓約する 5 環境経営を実践する為の必要十分な実施体制の構築 6 実施体制において各自の役割、責任、権限を定め従業員に周知する 7 実施及び管理に必要な経営資源を用意する 8 代表者による全体の評価と見直し実施
環境管理	1 環境管理システムを構築、実施、管理 2 環境への負荷及び取組の自己チェックの確認、承認 3 法規制などの遵守状況をチェック 4 環境方針の案作成及び環境目標の設定

責任者	5 環境活動実施計画及び実績の確認・集計・評価 6 問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置 7 環境活動の取組結果の代表者への報告 8 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
環境管理事務局	1 環境経営システム運営のすべての事務 2 環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者への報告 3「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、管理責任者へ報告 4 環境活動計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告 5 文書及び記録の管理保管 6 従業員に対する教育訓練の実施
EA21推進委員会	1 環境活動の審議及び実績の確認・評価
部門長	1 自部門における環境管理システムの実施 2 自部門の従業員に対する環境訓練の実施 3 自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施、達成状況の報告 4 自部門に必要な環境関連手順書の作成、運用管理 5 自部門に必要な緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練、記録 6 自部門の問題点の発見、是正、予防措置
全従業員	1 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 2 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

【5】環境経営目標

	基準年	実績		各年度目標		
	2022 年度	2023 年度	達成評価	2023 年度 −1%	20224 年度 −2%	2025 年度 −3%
電気使用量削減	589, 332kWh	597,023kWh	×	583,439kwh	577,545wh	571,652kwh

	基準年	実績		各年度目標		
	2022 年度	2023 年度	達成評価	2023 年度 −1%	2024 年度 −2%	2025 年度 −3%
化石燃料削減	793,369ℓ	806,990ℓ	×	785,435ℓ	777,502ℓ	769,568ℓ

	基準年	実績		各年度目標		
	2022 年度	2023 年度 前年度 1%削減	達成評価	2023 年度 −1%	2024 年度 −2%	2025 年度 −3%
一般廃棄物削減	332Kg	307kg	○	329 kg	325 kg	322 kg

	基準年	実績		各年度目標		
	2022 年度	2023 年度 前年度 1%削減	達成評価	2023 年度 −1%	2024 年度 −2%	2025 年度 −3%
水資源投入量削減	20, 320 ㎥	20,022 ㎥	○	20,117 ㎥	19,914 ㎥	19,710 ㎥

	基準年	実績		各年度目標		
	2022 年度	2023 年度 前年度 1%削減	達成評価	2023 年度 −1%	2024 年度 −2%	2025 年度 −3%
CO2 削減	2,294,044 kg−CO2	2,363,059 kg−CO2	×	2,27,2103 kg−CO2	2,248,163 kg−CO2	2,225,222 kg−CO2

	基準年	実績	各年度目標

	2022 年度 （本社工場） （千葉工場）	2023 年度 前年度 1%増加	達成 評価	2023 年度 ＋1% ＋1%	2024 年度 +2% ＋2%	2025 年度 ＋3% +3%
グリーン 購入率	42% 80%	45% 83%	○ ○	46% 85%	47% 86%	48% 87%

	基準年	実績		各年度目標		
	2022 年度	2023 年度 前年度 1%増加	達成 評価	2023 年度 40 件増	2024 年度 45 件増%	2025 年度 50 件増
輸送効率 の改善	72 件	126 件	○	112 件	117 件	122 件

	基準年	実績		各年度目標		
ゼロ・エミッション	2022 年度	2023 年度 前年度比 10%増可	達成 評価	2023 年度 10%増加	2024 年度 20%増加	2025 年度 30%増加
再生コンクリート出荷量	7，251 ㎥	7，976 ㎥	×	7，976 ㎥	8，701 ㎥	9，426 ㎥

※二酸化炭素排出係数

電力：大和ハウス 0.312 kg-CO2/kWh、東京電力エナジーパートナー0.474 kg-CO2/kWh

注）電力二酸化炭素排出係数は、使用量が多い「大和ハウス」の係数に統一して計算

化石燃料：2.322 kg-CO2/L（ガソリン）、2.580 kg-CO2/L（軽油）、3.000 kg-CO2/(LPG)

※輸送効率は本社工場と千葉工場の平均

※実績値の%値は基準年から比較

※PRTR 制度対象物質の使用は無し

【6】環境経営計画の内容

環境目標項目		取組項目	取組内容
二酸化炭素排出量の削減	1)電力・熱使用量の削減	①不要照明消灯の徹底	・不要照明の消灯及び適時確認
		②空調の適温化(冷房 25、暖房 22 度)	・空調設定温度の緩和(夏 25℃、冬 22℃)、定期的なフィルターの掃除及びこまめな運転、停止の実施
		③不使用時の機器の運転停止	・工場内の不使用時(混練りミキサーなど)機器の運転停止
		④節電表示	・工場内の照明スイッチの横に節電表示を行った
	2)化石燃料消費量の削減	①省エネ運転の実行 (燃費向上)	①急発進・急加速や空ぶかしの排除、駐停車中のエンジン停止等を励行 ②高速 80 キロ・一般道 50 キロを超えない取り組み ③収集運搬ルートの適正化に取り組み ④積載効率の効率化に努める
		②車両・重機の点検実施	・排気ガスや騒音のレベルを抑えるため適正な車輌整備の実施
		③エアー圧の適正化点検	・タイヤの空気圧を定期的に確認し、適正値(メーカー指定の空気圧)を保つように努める
		④省エネ型等の自動車への切り替え	・ダンプトラックを AT 車に切り替えた燃費の均一化を図った
廃棄物排出量の削減	1)一般廃棄物排出量の削減	①紙類使用量の削減	・会議用資料や事務手続書類の簡素化に取り組む ・社内 LAN、データベース等の利用による文書の電子化に取り組む ・打合せや会議の資料等については、ホワイトボードやプロジェクターの利用により、ペーパーレス化に取り組む ・印刷物を作成する場合は、その部数が必要最小限の量となるように考慮し、残部が出ないように配慮 ・コピー用紙、コンピューター用紙、伝票、事務用箋、印刷物、パンフレット、トイレットペーパー、名刺等の紙について、再生紙または未利用繊維への転換を図る ・使用済み用紙、ポスター、カレンダー等の裏紙が活用できる紙は可能な限り利用するよう工夫 ・シュレッダーの使用を機密文書等に限り、シュレッダー処理紙のリサイクル化
		②プラスチック類使用量の削減	・プラスチック使用量の削減
		③分別の徹底	・紙、金属缶、ガラスびん、プラスチック、電池等について、分別回収ボックスの適正配置等により分別の徹底
水使用量の削減		①節水表示	・手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行 ・蛇口に節水こま(適量の水を流す機能を持つこま)を設置している ・生産工程で使用する水を再利用するための設備を設置し、活用 ・バルブの調整により水量及び水圧の調節を図る ・洗車などに使用する水を必要最低限に抑える
		②散水は必要最小限	・散水は必要最低限に抑える

グリーン購入の推進	①購入可能環境配慮商品の調査	・工場で必要なものが環境配慮商品か調査する
	②環境配慮商品のリストアップ＆購入	・環境配慮商品をリストアップし、購入する
	③事務用品以外の購入検討	・事務用品以外の購入を進める
輸送効率の改善	①輸送効率の改善	・輸送効率を向上させる
ゼロ・エミッション	①再生コンクリートの出荷量の増加 ②認知度アップの為の営業、PR 活動 ③安定供給の為の材料確保	・再生骨材を使用する事で資源の再利用、CO_2の削減につながる事等を購入者に説明する ・定期的に品質試験を行い、安定した商品を提供する

【7】環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

環境方針（キーワード）	環境目標項目	取組内容	取組	
			結果・評価	次年度の環境経営計画
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	①不要照明消灯の徹底 ②空調の適温化(冷房 25、暖房 22 度) ③不使用時の機器の運転停止 ④節電表示	①不要照明消灯は徹底できた②冷房温度は 25 度を下回ることが多かった暖房は 22 度で運用することが出来た ③不使用時の機器の運転停止は徹底できた	①、③は引き続き継続する②については温度管理できるよう引き続き努力する ④引き続き実行する
	化石燃料消費量の削減	①省エネ運転の実行 ②車両・重機の点検実施 ③エアー圧の適正化点検 ④省エネ型自動車への切り替え	①省エネ運転は徹底できた②車両や重機の定期点検を実施した③エアー圧は定期的に点検した	①～③に関しては引き続き継続する ④に関しては努力したい
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	①紙類使用量の削減 ②プラスチック類使用量の削減 ③分別の徹底	①紙類の削減はコピーを両面にするなど工夫した②プラスチック類の使用量を減らした ③分別の徹底はできた	①～③に関しては引き続き継続する
水使用量の削減 ＜水道使用量:㎥＞		①節水表示 ②散水は必要最小限	①節水表示を行った②散水は必要最小限に抑えることができた	①引き続き実行する ②引き続き継続をする
グリーン購入の推進 ＜エコ製品購入額／総購入額＞		①購入可能環境配慮商品の調査 ②環境配慮商品のリストアップ＆購入 ③事務用品以外の購入検討	①～③は調査及び実行が出が出来た	①～③引き続き調査し実行をする
輸送効率の改善		①輸送効率の改善	送効率の改善は前年度より増えた	引き続き実行をする
ゼロ・エミッション		①再生コンクリートの出荷量の増加 ②認知度アップの為の営業、PR 活動 ③安定供給の為の材料確保	出荷量は前年より減っている ①納入先の件数は増えている ②認知度は確実にアップしてきている	確実に認知度・ニーズは高まってきているので、実績を作り出荷量増加につなげていく

・ダンプの運転日報

燃費やアイドリング状況、急加減速、急旋回などの運転情報が記録され、
評価や得点も表示される

運 転 日 報

宮松城南株式会社　本社

運行日付：2022/11/23 05:14　ID-9295　作成日：2022/11/24 08:55:55

始業時刻：
終業時刻：
管理番号：
所 属　：城南工場　(00000002)
乗務員名：長谷川　さつき　(00000029)
同乗者名：
車両名称：301　(07001599)

出庫時刻：2022/11/23 05:14　322419.6km
帰庫時刻：2022/11/23 16:25　322482.3km
稼動時間：11:10
待機時間：0:00
実車状態：11:10　62.6km
空車状態：0:00　0.0km
走行状態：2:57　62.6km

給油（L）	オイル（L）	通行料	その他費用
太陽	自社	現金	駐車料
その他	他社	ETC	諸費
	その他	カード	修理費
		その他	その他
合計	合計	合計	合計

項	作業	到着	出発	場所	品名	個数	t	走行距離	積状態
1	出庫		05:14	東京都大田区城南島２丁目１０					
2	常用	05:14	05:15	東京都大田区城南島２丁目１０				0.0	
3	停車	05:17	06:03	本社				0.6	
4	停車	06:38	07:16	神奈川県横浜市鶴見区扇島				20.5	
5	停車	07:26	08:01	神奈川県横浜市鶴見区扇島				1.2	
6	停車	08:01	08:35	神奈川県横浜市鶴見区扇島				0.0	
7	停車	08:45	09:16	神奈川県横浜市鶴見区扇島				1.4	
8	停車	09:22	09:50	神奈川県横浜市鶴見区扇島				0.7	
9	停車	10:00	10:28	神奈川県横浜市鶴見区扇島				2.1	
10	停車	10:40	10:54	神奈川県横浜市鶴見区扇島				2.1	
11	停車	10:54	11:19	神奈川県横浜市鶴見区扇島				0.0	
12	休憩	11:32	12:38	神奈川県横浜市鶴見区扇島				2.1	
13	休憩	12:38	12:40	神奈川県横浜市鶴見区扇島				0.0	
14	停車	12:41	13:14	神奈川県横浜市鶴見区扇島				0.1	
15	停車	13:22	13:47	神奈川県横浜市鶴見区扇島				2.0	
16	停車	13:55	14:25	神奈川県横浜市鶴見区扇島				2.0	
17	停車	14:31	15:04	神奈川県横浜市鶴見区扇島				1.3	
18	停車	15:14	15:28	神奈川県横浜市鶴見区扇島				2.0	
19	停車	15:38	15:49	神奈川県横浜市鶴見区扇島				1.9	
20	帰庫	16:25		東京都大田区城南島２丁目１０				20.6	

合計	
2:57:47	62.6
0:00:00	
0:00:00	
0:00:00	
1:07:12	
0:00:00	
0:00:00	
7:03:07	

安全運転　48点

時間	回数	減点
0:00:00	0	0
0:00:00	2	4
0:00:00	0	0
0:00:00	0	0
0:00:17	5	5

道路区分	距離	減点
高速道	68	0

道路区分走行距離 km	
一般道	0.0
市街地	0.0
高速道	62.6
専用道	0.0

評価	得点
A	91

【燃費】給油無し

Layoutcode：401A2A3A50646B5B9C500C200C4C73933F737000Z

【8】主な環境関連法規等の遵守状況、並びに違反、提訴等の有無

適用環境関連法規	適用事項	該当の有無	確認
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法又は廃掃法)	産業廃棄物処分業者・収集運搬の許可 産業廃棄物の適正処理 産業廃棄物の徹底管理 産業廃棄物管理票(マニフェスト)の交付及び 5 年間の保管 委託契約の作成保管　　等	有	○
自動車 Nox・PM 法	自動車から排出される NOx、PM の排出総量の排出抑制処義務	有	○
東京都環境確保条例	粒子状物質の排出基準の遵守 工場許可、変更の届出等	有	○
水質汚濁防止法	特定施設、指定施設、貯油施設等の破損その他の事故が発生し、有害物質又は指定物質を含む水が公共用水域に排出され、又は地下に浸透するおそれがあるときは、直ちに、排出又は浸透の防止のための応急の措置を講ずるとともに、速やかにその事故の状況及び講じた措置の概要を都道府県知事に届け出なければならない。	有	○

フロン排出抑制法	管理者判断基準の遵守 フロン類算定漏洩量の一定量以上の国への報告（翌年度 7 月末日） 機器廃棄時などのフロン類回収の徹底 冷媒フロン類みだり放出禁止 ※簡易点検の実施	有	○

※環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟はありませんでした。なお、関係当局よりの違法などの指摘は過去 3 年間ありません。

【9】代表者による全体評価と見直しの結果

今年で、エコアクション 21 の活動を行って 5 目です。
年々従業員のエコアクションに対する意識も高まりを感じます。

その一方で、本社工場では夜間の出荷量も年々増加しています。　そのため工場の稼働時間が長くなり電力消費量も増加しています。　従業員の安全を第一に考えながら、より節電対策を推進していきたいと思います。

また、化石燃料の使用量に関しましては輸送効率が上がってきてはいますが、使用量を削減する事はできませんでした。

昨今の原油価格の高騰もあり、コスト面でも大きな影響が出ています。従業員一丸となりさらなる削減に向けた取り組みをしていきたいと思います。